（1）　明治20年創刊　第40078号　（明治25年3月28日第三種郵便物承認）　（日刊）

上毛新聞

上毛新聞社
〒371-8666 前橋市古市町1-50-21
電話 市外局番(027)
事業局 254-9933 (広告)254-9944
総務 254-9313 (事業)254-9915
編集 254-9983 (出版)254-9966
販売 254-9981 (情報)254-9954
総務 254-9977 (総合)254-9911
上毛新聞社 2006年

世界遺産登録運動

8市町村10件を提案

来年1月候補選出　県、あす文化庁へ

本県絹産業遺産群の世界遺産登録運動で、県世界遺産推進等は二十七日、県内八市町村十件の建造物などによる世界遺産たる有力候補地十二件のうち、地元市町村から提示漏りの推薦があったのは七件だった。小寺弘之知事が二十九日、構想をまとめた「提案書」を近藤信司文化庁長官に手渡す。同庁は今月末まで、世界遺産を目指す国の自沼保からの提案書を受け付け、来年一月中旬に新たな世界遺産国内候補を選出する。

関連記事 4面

構想に入ったのは沼田市の「薄根の大クワ」など養蚕関連八件と、甘楽町の「旧甘楽社小幡組倉庫」など製糸関連二件、安中市の碓氷峠鉄道施設など流通関連一件の計十件。地元市町村が推薦し、県が「提案書」にまとめた。

有力候補地のうち、桐生市の桐生市建造物群と高崎市の旧官営新町紡糸紡績所、伊勢崎市の島村養蚕家群、安中市の碓氷社本社本館と郷原養蚕農家群は各市の推薦が養蚕関連一件と、甘楽町の「旧甘楽社小幡組倉庫」が推薦された。今後の登録運動で調整が行われる可能性もある。

県が提案する絹産業道産群	
◆養蚕	
薄根の大クワ	沼田市
荒船風穴	下仁田町
栃窪風穴	中之条町
高山社発祥の地	藤岡市
富沢家住宅	中之条町
赤岩地区養蚕農家群	六合村
◆製糸	
旧甘楽社小幡組倉庫	甘楽町
旧官営富岡製糸場	富岡市
◆流通	
碓氷峠鉄道施設	安中市
旧上野鉄道関連施設	下仁田町

なかった。甘楽町の小幡組倉庫のみ可能性もある。

養蚕農家群は、地元内の旧甘楽社小幡組倉庫のみが推薦された。今後の登録運動で調整が行われる可能性もある。

提案書で県は、構想の名称を「富岡製糸場と絹産業遺産群―日本産業革命の原点」と設定、全国的に伝統的な産業の高い「旧官営富岡製糸場」を前面に出すとともに、ユネスコが求める「産業遺産」としての存在をアピールし、複数の遺産から成る「群」であることも強調している。

全国では「富士山」（山梨、静岡）や「縄文遺跡群」（青森）、「飛鳥地域」（奈良）などが世界遺産登録運動を進め、今月末までに十八前後の地域が世界遺産登録を求める提案書を文化庁に提出する見込み。

同庁の世界文化遺産特別委員会が自治体の提案書を審議し、来年一月中旬に世界遺産の国内候補「暫定リスト」登載物件を数件選ぶ。

シクラメン最盛期

高崎市木部町の塚越園芸（塚越正敏さん経営）でシクラメンが花を咲かせ、ハウス内は白やピンク、赤、紫など色鮮やかに彩られている＝写真。塚越さんによると、今年は夏があまり暑くならなかった影響で、例年に比べ大きなボリュームの花に育ったという。

ギフト商品として人気のシクラメンは、今月末から十二月中旬までが最盛期。ハウス内も出荷作業に追われている。

障害児の食費補助

自立支援法負担軽減策　県　12月補正に800万計上

障害者自立支援法の施行に伴う利用者の負担増（軽減策として、障害児通園施設の食費を全額補助する方針を決めた。関係費用を盛り込んだ本年度一般会計十二月補正予算案を、県議会十二月定例会に提出する。二十七日の県議会議運委員会で、小寺弘之知事が内示した。

食費の全額補助は、県内の障害児通園施設三カ所、計百人が対象予定。今年十月一日から来年三月末までの食費（最大日額千百五十円）として計八百万円を計上した。

県障害者政策課は「緊急的な措置」と位置付け、入所施設と利用する障害児や、福祉サービスを利用する大人の障害者への援助は今後、検討する。

障害児施設の利用料はこれまで保護者の所得に応じて決められていた。同法の本格施行とともに十月以降は原則一割負担となり、食費など定、今年十月一日から来年三月末までの食費（最大日額千百五十円）として計八百万円を計上した。

厚生労働省の試算では、これまで二カ月の負担額が千百円だった低所得者は九千四十円、二千一百一十三円だった低所得者は二千一百円、四千五百円以上だった一般世帯は三万八千七百円となる。

こうした利用者の負担増に対して県は同日、国が決めるべき課題と指摘し、全国的な実態把握と軽減措置を政府に要望した。

十二月補正予算案の総額は六千三百万円で、認定こども園の整備費補助なども盛り込まれた。

県議会の弁償費用　平均6000円へ減額案

県議　リース車参考に算出

県議会開会日の必要経費として支給される「費用弁償」の減額を検討した県議会議会改革検討委員会は二十七日、自（自民案）より実態に近い（公明案）より実態に近い（自民党幹部）などとしている。

現支給額は一万四千四百円で全国的にも高額とされる。

自民案では二〇〇〇cc クラスの乗用車の四年間リースを想定し、一日当たりのリース料を約三千五百円と算出した。往復三十五キロ以内の場合、公務費などを加えた金額を約五千四百円と試算。

全議員の平均支給額は六千五百円程度で、全国でも最低水準になるという。

一般質問は来月8、11日

県議会議運

県議会議会運営委員会は、一般質問の日程を十一月八日、十一月定例会の会期を十二月四日から十七日までの十七日間とすることを決めた。一般質問は八、十一日。

保守一本化狙う

みどり市長　立候補予定者

須藤　昭男　46　自現（定数1）

日米ともに「市政・県政報告会」を行政区ごとに開催、「難問が山積している。県との連携を取り、みどり市を発展させた補の動きはない。（敬称略）

選挙直後から出馬を決めの芽を抱えた選挙地図に、主婦層などに食い込む「コツコツやるだけ」はやのところ、擁立を考えていないという。

新人五人を数える波乱ならそれでいい」。昨年の衆院選小選挙区群馬五区の民主公認候補だった経理問題で関与が指摘される前政事長、馬渕孝行氏の対応姿勢を鮮明にする。馬渕は連合群馬の推薦を得て、労組票の結果に余念がない。「動労者の声を反映させる」と基本に戻る戦略だ。

田島、黒沢ともに民主に公認申請中の前部知世は二度目の挑戦。前回は「選挙直後の出馬を決む。コツコツやるだけ」とペースを崩さない。

動きは現職のみ

須藤昭男氏

自民の須藤昭男は今月上旬から大間々、東両地区でみどり市長の石原条、山田郡区県議の須藤

みどり市区

◇山田郡区・前回結果
（1995年、※2006年5月補選、03年、1999年はいずれも無投票）

当	8272	石原　条	自現
	5116	新井　政行	無新

新人5人激戦の様相

太田市区　立候補予定者

金田　克次　63　自現
長谷川嘉一　62　自現
新井　章夫　54　自新
鈴木　信昭　59　自新
笹川　博義　40　自新
黒沢　孝行　55　無新
田島　国彦　37　無現
阿部　知世　35　無新

（定数5）

旧太田市と、旧笠懸町を除く旧新田郡が統合した定数五をめぐり、八人（人比）気兼ねなく頼めるが名乗りを上げている。自民現職の大沢正明は知事選出馬を表明。民主は党県連の不正経理問題の対応が選挙区に持ち込まれ、地域対抗に加えて県政党全体の事情が絡み合い、激戦の様相だ。

旧都部に照準

大沢の地元は旧尾島町。後継候補の選挙が難航する中、旧市が地盤の自民現職二人は旧郡部票の開拓に意欲を燃やす。

金田克次は大沢の知事選転出で「（旧郡部の知）に注目が集まる。

自民新人の新井章夫と国政選挙の経験と笹川発の名乗りを上げている。

金田は「（旧郡部の知）気兼ねなく頼めるようになった」と動きを加速させる。「目標は前回プラス千票」とする長谷川嘉一も、選挙戦の中盤を固めてから、新田東の浸透を図る構えだ。

自民の空白区となる旧谷川嘉一も、新田東の浸透を図る構えだ。

自民の空白区となる旧町。後継候補の選挙が難航する中、旧市が地盤の自民現職二人は旧郡部票の開拓に意欲を燃やす。

金田克次は大沢の知事選転出で「（旧郡部の知）に注目が集まる。

自民新人の新井章夫と国政選挙の経験と笹川発の名乗りを上げている。

金田は「（旧郡部の知）気兼ねなく頼めるようになった」と動きを加速させる。「目標は前回プラス千票」とする長谷川嘉一も、選挙戦の中盤を固めてから、新田東の浸透を図る構えだ。

自民の空白区となる旧谷川嘉一も、新田東の浸透を図る構えだ。

自民の空白区となる旧町。後継候補の選挙が難航する中、旧市が地盤の自民現職二人は旧郡部票の開拓に意欲を燃やす。

金田克次は大沢の知事選転出で「（旧郡部の知）に注目が集まる。

自民新人の新井章夫と国政選挙の経験と笹川発の名乗りを上げている。

金田は「（旧郡部の知）気兼ねなく頼めるようになった」と動きを加速させる。「目標は前回プラス千票」とする長谷川嘉一も、選挙戦の中盤を固めてから